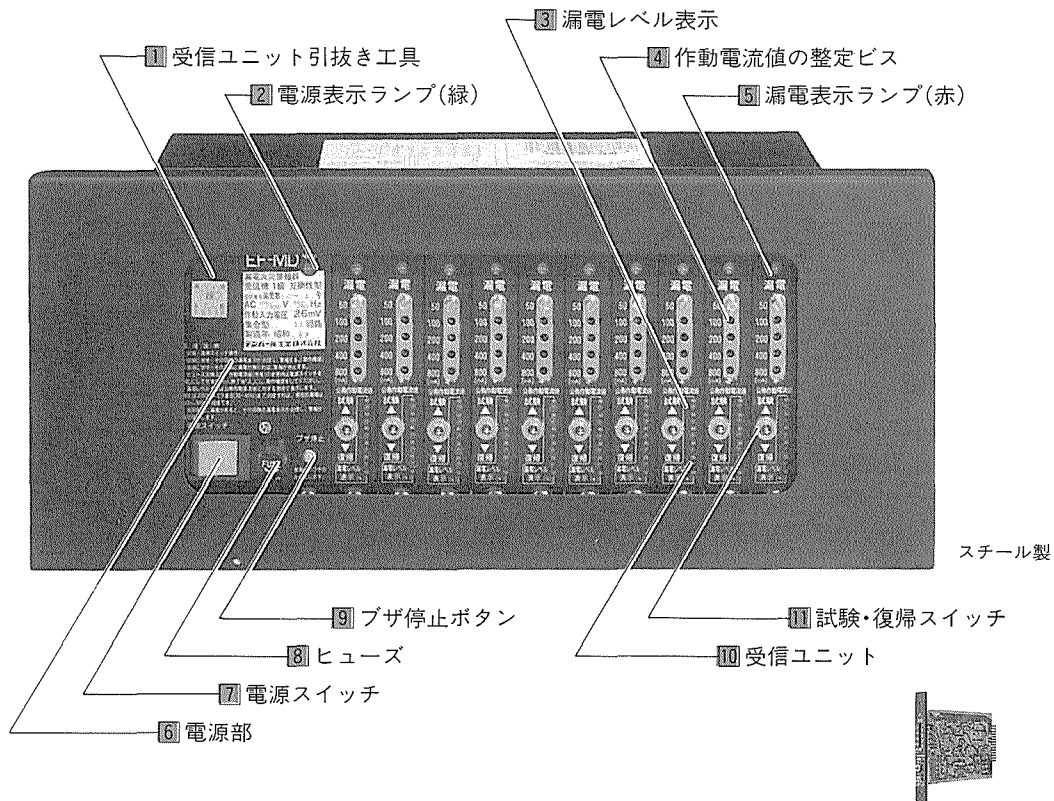


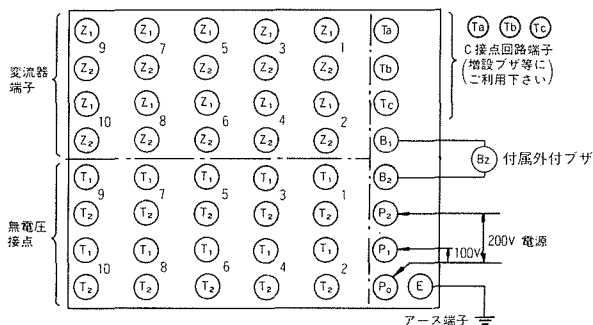
EF-MD

●集合型10回路／埋込形／国家検定合格品

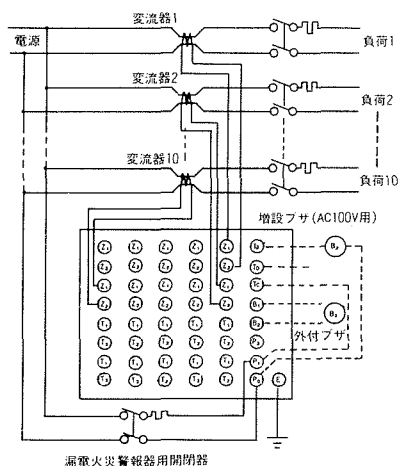


端子配列

- 注意①電源は200Vの時P₀-P₂、100Vの時P₀-P₁に接続して下さい。
 ②Z₁-Z₂(1~10)は変流器端子ですので電圧をかけないで下さい。
 ③T₁-T₂(1~10)は各回路ごとのa接点端子です。
 ④T_a-T_b-T_cは共通のC接点回路端子で増設ブザー等にご利用下さい。



●接続例



各部の説明

- ①受信ユニット引抜き工具●受信ユニットはプラグイン式です。この引抜き工具で引出して下さい。
 ②電源表示ランプ(緑)●受信機の電源が入っていることを示します。点灯しない場合はヒューズ、電源スイッチ、専用開閉器を確認して下さい。
 ③漏電レベル表示●現在の漏電状態を設定作動電流値に対する割合で順次点灯します。受注仕様として漏電レベル表示なしも可能です。
 ④作動電流値の整定ビス●設定する電流値のネジ穴に確実に整定ビスをネジ込んで下さい。整定ビスがゆるんだ状態では50mA感度となります。設定する場合は、電源スイッチを $\square$ にして下さい。
 ⑤漏電表示ランプ(赤)●漏電が発生するとランプが点灯し自己保持します。
 ⑥電源部
 ⑦電源スイッチ●受信機の制御電源を $\square$ 切できます。ヒューズ取替時、作動電流値の変更時に $\square$ にして作業して下さい。常時は $\square$ にしておいて下さい。
 ⑧ヒューズ●ガラス管ヒューズMF51(ϕ 5)、1Aを使用して下さい。
 ⑨ブザ停止ボタン●警報中に押すとブザのみ停止します。各ユニットの警報が復帰すれば、ブザ停止も自動復帰するので、次に漏電が生じたときもブザは鳴ります。
 ⑩受信ユニット●プラグイン構造なのでメンテナンスが容易にできます。表示はすべて発光ダイオード(LED)使用。
 ⑪試験・復帰スイッチ
 ●試験(上方向)：本体の動作確認及び変流器の導通試験ができます。
 ●復帰(下方向)：漏電がなければ警報が復帰します。